

調布市保育園父母の会連絡協議会 御中
調布市学童保育連絡協議会 御中
調布市保育問題連絡協議会 御中

2002年6月21日

調布市市長立候補予定者
長友 貴樹

日頃より、調布市の子育て環境について様々な角度からご活躍・ご努力をなさっていらっしゃる貴団体に関しまして、心より敬意を表します。

私は皆様のご意見を真摯に受け止め、もし叶うならば行政に是非生かしていきたいと考えております。

貴団体からございましたご質問状につきまして以下のように回答申し上げます。

< 深大寺保育園の民間委託問題に関して >

1 公立保育園の存在意義について

行政の守備範囲は、揺りかごから墓場までと認識しております。この立場に立つならば、公共の施設が望ましいと考えます。しかし、限りある財源の配分を考慮しなければなりません。現に他市においても私立保育所、無認可保育所の現存するのも事実でございます。国・都の措置基準を超えた保育行政を展開する場合は、自主財源の投入が必要となります。待機児童に見合う新たな保育園を建設する場合は、市民のコンセンサスも必要となります。

つきましては、民間保育園との連携を密にしながら、可能な限り必要とする行政支援は当然のことだと思っております。

なお、調布市の保育園園長は、現在係長職であるますが、よりよい保育内容を実現するためには、管理職の園長の誕生が必要であると思っております。

2 深大寺保育園の公設民営化については、職員の勤務条件変更などの問題がありますので、今後委託の見直しも視野に入れて慎重に検討する必要があると考えています。

< 待機児解消について >

これも行政の責任であり一刻も早い解決を図るべきです。

< 学童クラブに関して >

- 1 必要であり早急に対応すべきです。
- 2 業務内容から、近隣市では、嘱託員又は臨時職員が対応しておりますが調布市では現場および市民の意見を尊重しながら対応してまいります。
- 3 従来からの役所的な画一的対応ではなく学年緩和は当然と考えます。
- 4 学校の週5日制とも関連すると思いますが、同じ場所で別々の行動ではなく可能な限り一緒に遊び異学年交流を図るべきです。
- 5 中学校の完全給食実現の方向で努力したいと考えております。

<子育て施策全般に関して>

- 1 すでに、「子育て支援センター」で子育て相談が行われておりますが、地域における人と人との係わりがますます希薄になってきている中で、子育てに悩んでいるお母さんも少なくないと思います。そうしたお母さん方が、気軽に相談ができるシステムを、もっともっと作る必要があると思います。
- 2 輝かしい調布の未来を担う子ども達に対する予算は、最優先と考えております。

障害児への対応を含む教育全般は、本来お金をかけなければならないもの、そしてお金がかかるものだと考えます。これから未来を担う子どもたちに対して、基本的に受益者負担はなじまないものであり、きわめて慎重な対応が必要と考えます。

教育を手厚くするための財源はどう確保するのかという問題もあります。ハコモノ行政の見直しと、市税の企業会計の導入による無駄をなくす効果的な運用による財源の確保を考えています。

ただ、少人数学級の実現、1学区1学童、保育園待機児の早期解消、延長保育の実施、など具体的にできるところからやっていくことが必要だと思えます。

私は、現場の実情を把握し、現場の意見を尊重しながら問題解決にむけて一緒に考えていきたいと思えます。